

30周年記念行事 秋期講習会 「循環型社会への挑戦」



循環型社会が到来する。「将来の社会をささえる為に」と、一人一人が次世代への持続可能な循環型ビジネスの重要性を認識する必要がある。

「環境への取り組みの視野を広げたい」と環境ビジネスの普及を目的として設立されたエコビジネスネットワーク代表者、安藤真氏に講演を

今注目を集める「グリーンコンシューマ」。循環型の製品を買っていきこうという、消費者の意識改革だ。我々にできることは、リサイクル可能なもの 資源とエネルギー消費の少ないもの 自然と生物多様性を損なわないもの 使い捨てでなく、長く使えるもの 環境汚染と健康への影響が少ないもの などを**選ぶこと**だ。だが日本でのこの意識の浸透はまだかなりの時間を要するであろう。しかし、石油は40年、ガスは80年後に無くなると言われている。将来我々の子孫を考えれば、絶対に自分の視点から外せない大切な環境なのだ。だから、基本的

な行動である「グリーン購入」がこれからの社会には大変重要なのである。

「世の中で一番困ったことを解決することを目的とした理念を持つ会社でなければならない。」と遠山塾主は語る。まさに今、こうしている間にもどんどん資源は減っている。塾主が常におっしゃる「人生は砂時計」のように「地球の資源は砂時計」であることを念頭に置き、資源の存在を認識していく必要があるだろう。あなたの会社は大丈夫だろうか。

< 3塾 江川裕子 >

教育委員会より

ブロック塾制度の実施について（本年1月8日の塾長会にてブロック塾制度） に関し、下記の通り承認されました。

- (1)目的
 - 1 成立年度の古い塾と新しい塾の交流を実現する
 - 2 1,000人体制にあっても、深く豊かな交流が出来る仕組みを提示する
 - 3 塾生は、終生現役であることを再確認する
 - 4 塾全体の活性を高めるを通じ、塾の教育効果を増大させる
- (2)方法
 - 1 毎年、事前にブロック塾を制定し、その塾間での交流を重視する
 - 2 ブロック塾単位での活動の手法は、一切を各ブロックに委ねる
 - 3 入塾後7年目以前の塾が、幹事塾(印)となり、1年間の幹事を務める
 - 4 幹事塾(印)の塾長は、最初の音頭を必ず取る
 - 5 各塾長は、立ち上げに協力し、ブロック塾交流の目的を塾生に徹底する
 - 6 今期(平成14年度)は、下表の枠組みで仮実施をする
 - 7 今期仮実施期間に、最低でも1回は行事を開催する
 - 8 塾長会にて、幹事塾の塾長はブロック塾での活動結果を簡単に報告する
 - 9 来期(平成15年度)から、予算化も含め、細部を再検討し本実施に移行する

平成14年度ブロック塾(H14/9~H15/8)仮実施

Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	Fブロック	Gブロック
第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7
第8	第9	第10	第11	第12	第13	第14
第15	第16	第17	第18	第19	第20	第21
第22	第23	第24	第25	第26	第27	第28

平成15年度ブロック塾(H15/9~H16/8)本実施

Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	Fブロック	Gブロック	Hブロック
	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7
第8	第9	第10	第11	第12	第13	第14	第15
第16	第17	第18	第19	第20	第21	第22	第23
第24	第25	第26	第27	第28	第29	第30	